

授業科目 日常生活活動学

【担当教員名】 貝淵正人 大山峰生	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

人間の日常生活の基本として遂行される食事、排泄、整容、更衣、移動などの動作遂行に必要な条件を理解し、日常生活活動（ADL）および生活関連活動（IADL）に関連する基礎的・応用的知識について修得する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. ADLの概念について説明できる。
2. 基本動作の特徴を分析することができる。
3. 代表的疾患に特有なADL評価を説明でき、プログラムを立案施行できる。
4. 福祉用具・スプリントの役割についての重要性を説明できる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ADLの基本的考え方、領域と分類、ADL支援システム	1	講義 貝淵
2	ADL評価と動作分析の基礎知識	2	講義 貝淵
3	福祉用具の基礎知識	4	講義 貝淵
4	評価の特徴とADLプログラム立案（片麻痺）	3	講義 貝淵
5	評価の特徴とADLプログラム立案（脊髄損傷）	3	講義 貝淵
6	スプリントの理論：スプリントの処方、スプリントの適応	4	講義 大山
7	スプリントの理論：スプリントの力学とスプリント療法の実際	4	講義 大山

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	標準作業療法学 社会生活行為学	田川義勝・濱口豊太	医学書院	2007年	4935円
	ADL ー作業療法の戦略・戦術・技術ー	生田宗博	三輪書店	2005年	4725円
	義肢装具学第3版	川村次郎、竹内孝仁 編集	医学書院	2004年	7000円
参考書	ADLとその周辺	伊藤利之、鎌倉距子	医学書院	1999年	5900円
その他の資料	プリント				

【評価方法】 出席、期末試験	【履修上の留意点】 動きやすい服装で臨むこと
-------------------	---------------------------

作業療法学科 専門